

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
67		地域振興事務経費	会計	01	一般会計
基本施策	61	市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつくる	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
施策	1	コミュニティ意識の醸成	目	06	企画費
			細目	102	地域振興費
			細々目	01	地域振興事務経費
基本計画該当頁	200	担当部課	コード	550100	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号	1	名称	伊賀支所総務振興課		塚脇 逸子
					連絡先 45 - 9111 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	支所管内 (対象件数)	地域の文化振興や交通の利便性の向上を図る。
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	・柘植駅、新堂駅の維持管理により、地域の交通対策の向上を図る。 ・地域振興を図るため、区長等と協議する。	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
コミュニティ事業補助	件	目標	0	0	1
		実績	0	1	
		目標			
		実績			
		目標			
		実績			
		目標			
		実績			

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	()
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
区長との協議回数	地域の問題点等について協議し、地域振興を図ります。	回	目標	4	4	4
			実績	4	4	
			目標			
			実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	柘植駅、新堂駅の維持管理を図り、地域振興のための協議等を行っています。
有効性	3	区長等と、地域振興のさまざまな課題を協議しています。
達成度	4	上村区のコミュニティ補助事業を実施しました。
効率性	3	殆ど予算がない中で、実施しています。

総合評価

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
C	現状維持	新堂駅舎は旧伊賀町が建設した経緯もあり、収支面で赤字でもあるので、修繕等、市がしなければならぬところがあるが、極力抑えていく。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
委託	⇔	消耗品ほか	67		(千円)	消耗品ほか	55		(千円)	消耗品ほか	87		(千円)	消耗品ほか	67		(千円)
工事	⇔	コミュニティ助成金	67		(千円)	コミュニティ助成金	2,500		(千円)	コミュニティ助成金	2,500		(千円)	コミュニティ助成金	2,500		(千円)
進捗率(%)		事業費計(A)	67			事業費計(A)	2,555			事業費計(A)	87			事業費計(A)	2,667		
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人	360	人件費(B)	0.1	人	360	人件費(B)	0.1	人	360	人件費(B)	0.1	人	360
フルコスト(A)+(B)					427				2,915				447				3,027

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	金額
Aの財源内訳	国庫支出金	67
	県支出金	
	地方債	
	受益者負担	
	その他	2,500
備考	一般財源	67
	計	2,555
特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	一般コミュニティ助成事業(自治総合センター)上限250万	87
	一般コミュニティ助成事業(自治総合センター)上限250万	2,667